

所 管	総務部総務課		
担 当	光岡 幸一	問い合わせ	0573-26-2111 (内線 321)

報 道 機 関 各位

中日新聞に掲載された恵那南地区の中学校統合の 記事の調査結果について

6月21日付けの中日新聞一面に掲載された「市職員が賛意発言工作」した記事について関係者に聞き取り調査した結果、市職員が賛意の発言を工作した事実はありませんでしたのでお知らせします。

記

1. 調査対象者

関係する市職員と、中日新聞記事に掲載された発言内容と市説明会議事録から発言者を特定し、実際に中日新聞社から取材を受けた市民3人から聞き取りを行った。

2. 聞き取り結果

(1) 住民A

■新聞掲載内容

1月の説明会に参加した小学校の父親は「説明会の当日職員が来て、『説明会でもっと早く進めるように言ってほしい』と頼まれた」と明かした。父親は賛否に対する意見はなかったが、その日夜にあった説明会で統合を迅速に進めるよう発言した。

父親の発言は、市の公式会議録に「保護者の意見」として掲載された。さらに別の地域の説明で、参加者から統合に慎重な意見が続いた際、市側は他地域の市民の意見として「『早く統合してほしい』という意見があった」と父親の発言を引用。こうした事実を知った父親は「(自分は) 間違ったことをした」と後悔する。

■聞き取り結果

「説明会の当日職員が来て」の部分では、他のイベントの打ち合わせで自宅まで来た際に、説明会の話になった。

『説明会でもっと早く進めるよう言ってほしい』と頼まれた」の部分では、当時はそのように認識していたが、その後振興事務所職員と改めて話をし、認識していたことが誤解であったことを理解した。

「父親は賛否に対する意見はなかったが、その日夜にあった説明会で統合を迅速に進めるよう発言した」の部分では、依頼をされたからではなく、当時自分の意見があったから発言した。

「父親の発言は、市の公式会議録に「保護者の意見」として掲載された。さらに別の地域の説明で、参加者から統合に慎重な意見が続いた際、市側は他地域の市民の意見として『早く統合してほしい』という意見があった」と父親の発言を引用。こうした事実を知った父親は「(自分は) 間違ったことをした」と後悔する。」の部分では、他の説明会の議事録を見て反対意見が多くあることを知り統合の進め方に疑問を感じて、早く統合を進めていくことの意見を言ったことに後悔した。

(2) 住民B

■新聞掲載内容

3月の説明会に参加した別の男性は「市の職員に『一般の参加者として出席して、統合に前向きな発言をしてほしい』と頼まれた」と明かし、「会場では『子どもたちは人数が多い方が成長できる』と発言した」と話した。

■聞き取り結果

市職員に一般の参加者として統合に前向きな発言をしてほしいと頼まれていない、自分の意見として説明会で発言をした。

(3) 住民C

■新聞掲載内容

また、別の説明会に出席した男性は「説明会会場で職員から会議前に『統合についての情報をもっと公開してほしいと発言して』と頼まれたので、そのように発言した」と証言。

■聞き取り結果

頼まれたから発言をしたわけではなく、自分の意見として発言をした。

3. 調査結果

市職員の聞き取りからは、賛意を示す発言を促した事実はなかった。また、中日新聞の取材を受けた市民3人の聞き取りでは、いずれも「市職員から賛意の発言を依頼」されていないこと、発言は自分の意志で発言をしたことを確認した。

4. 市長コメント

前回発表してから、市職員や発言した市民の方から話を伺い事実関係の調査をした結果、組織的に賛意発言を依頼した発言工作はありませんでした。

今後も、事業を進めるにあっては、今まで以上に丁寧な説明を心掛け、疑いを持たれることのないように進めてまいります。